

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] アルツハイマー型認知症と非認知症者でのフレイル、バランス能力の比較～当院もの忘れ外来リハビリの取り組み～

[研究責任者] 医療技術局リハビリテーション室 肥後和明

[研究の背景] 2021 年 7 月末より、当院もの忘れ外来患者へのリハビリを開始した。理学療法士が身体機能の評価(フレイル、バランス機能等)、作業療法士が生活指導や運動指導、家族指導を実施している。フレイルとは、日本老年医学会が 2014 年に提唱した概念で「Frailty (虚弱)」が語源となる。健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味する。取り組み始めた 1 年を振り返り、今後の業務改善や患者教育に繋げる。

[研究の目的]もの忘れ外来でリハビリの介入をした患者のうち、アルツハイマー型認知症と診断された方と非認知症者の 2 群間でのフレイルの有病率、バランス能力を比較・検討をする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2021 年 7 月 26 日から西暦 2022 年 7 月 31 日の間に当院もの忘れ外来を受診され、リハビリの介入を行った患者。

●研究期間：臨床研究審査委員会承認日から西暦 2023 年 10 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

- ① 診断名
- ② 年齢
- ③ 性別
- ④ フレイル評価 5 項目 (体重減少、疲労感、握力、歩行速度、運動習慣)
- ⑤ バランス評価 Timed up & go test (TUG)
- ⑥ 開眼片脚立位
- ⑦ 日常生活動作評価 (Barthel index：バーサルインデックス)
- ⑧ 認知機能評価：ミニメンタルステート検査 (MMSE：Mini Mental State Examination)、Alzheimer's Disease Assessment Scale (ADAS)

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医療技術局リハビリテーション室 肥後和明

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913